

# 令和4年度 学校経営方針

令和4年4月1日 京都市立養正小学校

## 小中一貫教育目標

### 小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



## 学校教育目標

### 子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ○自ら考え表現し、学ぶことを楽しむ子の育成     | 【学 力】   |
| ○自他の良さを認め、共に高め合う学習集団の育成   | 【人 権】   |
| ○人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成   | 【豊かな心】  |
| ○望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 | 【健やかな体】 |



## めざす子ども像

- |                        |         |
|------------------------|---------|
| すすんで考え、学ぶことを楽しむ子       | 【学 力】   |
| 自分や仲間の良さを認められる子        | 【人 権】   |
| 思いやりがあり、ルールとマナーを大切にする子 | 【豊かな心】  |
| 運動に親しみ、健康な生活をする子       | 【健やかな体】 |

### 1 めざす子ども像の具体化

「すすんで考え、学ぶことを楽しむ子」…学習意欲・関心

- \* 授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって楽しんで学習する子ども
- \* 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- \* 様々な情報(教材・資料・発言等)を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

「自分や仲間の良さを認められる子」…相手意識

- \* 自分の良さに気づき、その良さを素直に認め、さらに伸ばそうとする子ども
- \* 仲間の良さや頑張りを素直に認め、相手のことを考えた言動ができる子ども
- \* 様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けている子ども

「思いやりがあり、ルールとマナーを大切にする子」…思いやり・ルール・マナー・エチケット

- \* 学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- \* 仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- \* 思いやりをもって人との関わりを楽しみ、マナーを大切にできる子ども

「運動に親しみ、健康な生活をする子」…自尊感情

- \* 命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- \* 食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的な生活習慣を身に付けている子ども
- \* 運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくろうとする子ども

## 2 目指す教職員像 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。【徹底】
- ②個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量(指導力)や人権感覚の向上をめざす。【研鑽】
- ③全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、教育課程や内容の見直し(カリキュラム・マネジメント)、業務の削減と効率化を進める。【参画】
- ④学力向上・規範意識の高揚・生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。【結果】

## 3 今年度の取組の重点

### (0)「組織力」「環境(学習環境・職場環境)」・・・チーム養正

キーワード  
『継続』

＊コミュニケーション, 風通し, 明るく温かい雰囲気のある職場づくり(ソフト面)

＊美しい職場環境づくり(ハード面)⇒職員室・会議室・資料室 等

＊落ち着いたある学習環境の整備

⇒ソフト面: スーパーあいさつ・丁寧な言葉づかい・さん付け・温かい関わり・笑顔 等

ハード面: 教室(総合・特別教室)・廊下・校庭・靴箱 等

### (1)「学習規律」「基礎・基本」「関心・意欲」「思考力・表現力」「自学自習」「各種調査分析」

・・・「楽しい・わかった」が聞こえる

＊『学びの約束・ルール』(小中一貫教育構想より)の実践・徹底＝年度当初より

＊生徒指導の三機能を意識した授業⇒チェックリストの活用, 授業研修

＊朝読書, ベーシック・ステップアップ, 言葉ランドの確実な実践

＊「楽しい授業」「わかる授業」「考え, 表現する授業」の積み重ね

⇒基本的な学習過程【導入－問題－めあて－一人学び－話し合い(グループ・全体)－まとめ－振り返り】

★導入の工夫, 動機付け(しかけ), 思考を促す発問, 話し合いの視点, GIGA 端末の活用

⇒的確な支援【ICT の活用視覚教材・見やすい板書・指示 等】

＊授業研究, 中堅若手自主研修等での積極的な授業公開⇒国語・算数を中心に

＊GIGA 端末の日常的・主体的な活用, 「誰一人取り残さない」視点

＊学校図書館・視聴覚室の積極的な活用

⇒読書環境の充実: 読書ノート・バッグの活用, 学校司書との連携, 読書週間

⇒「学習・情報センター」として授業での活用・・・ICT だけに頼らない授業

＊家庭学習(自学自習)の習慣化 ⇒宿題: 提出の徹底と個別化, 自学: 内容の紹介

★漢字・計算, 音読・読解, 問題集, デジタルドリルの活用, ノートの掲示

### (2)「人権感覚」「自尊感情(自己肯定感・自己有用感)」「規範意識」・・・マナー・エチケット

＊人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり

⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感

⇒生徒指導の三機能を意識した学級経営

⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援

⇒「養正マナーの達人 10 か条」の推進＝マイスターの存在, 達人への道

＊人権に関わる学習活動や取組の着実な実践

⇒「にこにこ集会」「学級での人権学習」「ようせいタイム」等の充実

⇒児童会との連携: 月目標, 振り返り, 教職員の意識

⇒新たな人権課題への対応: 「LGBTQ」「情報モラル」「虐待」「コロナ感染」「ヤングケアラー」等

⇒不易の取組：同和問題にかかわる単元の指導, ハートフルタイム, インプロ, 交流学習, コリアみんぞく教室

＊「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践

⇒生指ミーティング, ケース会議, 保健室・SC・SSW及び家庭との連携

⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」「こころとからだのアンケート」の活用

⇒『養正校のやくそく』についての継続的でぶれない指導

(3)「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」・・・**自分ができる**

＊新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底

⇒手洗い, マスクの着用, ソーシャルディスタンス, 黙食等の徹底

＊健康教育推進計画に基づく実践の継続

⇒基本的な生活習慣の定着に向けて: 食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム

・「生活しらべ」の結果に基づく指導(子ども・保護者)

・歯, 口の健康改善＝給食後の歯みがき, 歯の健康に関する指導

・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携

・体育学習の授業改善, 「ロング昼休み」の活用等

＊自分の命・健康を守り切る力の育成

⇒学級活動: 安全ノートの活用, 避難訓練: 様々な想定・三校合同研修

＊「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応

＊防災マニュアルの改善と共通理解, 校内の危険箇所の点検と整備

(4)「コンプライアンス」「働き方改革」「SDGs」「その他」・・・**気持ちよく**

＊法令遵守の徹底, 教育公務員としての倫理観の向上

＊時間・物の有効活用＝放課後の時間の捻出, 仕事コントロール, ワークライフバランス

⇒会議等の時間, 電話対応・施錠時刻, 仕事のめりはり, 授業時数の確保

⇒働き方改革は時間だけの問題ではない! 整頓された職場環境・働きやすさ・働く意欲

⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見通しをもった購入, 光熱水費等の節約

＊地域, 関係諸機関との積極的な連携

⇒高野中学校区三校, 校区保育所, 児童館, 東山総合支援学校, 児童相談所 等

＊新学習指導要領の実践

⇒「道徳」「外国語科(外国語活動・英語活動)」「学習評価」「カリキュラム・マネジメント」等

＊GIGA スクール構想「充実期」・プログラミング教育等の積極的な実践

⇒個人の力量を上げるだけではなく, 学校全体のレベルをさらに上げる